



No.010 副業のすすめ 終身雇用の幻想に惑わされるな！



参考: 毎日コミュニケーションズ ニュースリリースポータル

日本の大学を卒業する学生は、どこか有名企業に就職が決まれば将来は安泰、と考えるようです。でもそうでしょうか。

大企業の経営破綻や合併統合など、経済環境の変化は激しく、国際競争は激烈です。

大学で勉強なくていい、仕事は会社が教える、会社のために働く気さえあればいい、一生面倒見てやる、そんな悠長な会社が本当に生き残れるでしょうか。

日本以外の国の学生はこう考えます。まず大学で何らかのスキルを身につける。卒業すればそのスキルを高く買ってくれる会社を探す。ライバルは同学年の学生ではなく、同じスキルを持つプロフェッショナル。会社に入る目的はそのスキルを磨いて、自分の価値を高めること。成功すればさらに自分を高く買ってくれる他の会社に移る。会社が引きとめたければ、高い報酬を払うしかありません。

こちらのほうがグローバルスタンダードです。会社にとっても必要なスキルを持つ人材を獲得し、事業を成功させなければ生き残れない。猛烈な速さで競争環境が変化する中で、これから社会人1年生を採用して会社を卒業するまで貢献してもらうなどと悠長なこと言てられないのです。

公務員が現に法律で身分保障され、正規社員の雇用が労働法規で厳格に守られている現実があるので、安全地帯に身を置くことを目標にする生き方が正統派のように思われています。しかし非正規職員や契約社員の実態をみると、守られているのは労働者のほんの一部であり、制度が実態に追いついていないことに気がつきます。

日本人にとって居心地のよかった終身雇用に前提とする生き方は、早晚崩れるでしょう。

その時代になっても生き残るために、副業に精を出して、一人一人のスキルを磨きましょう。